

(報道発表)

2022年12月16日
山形県立鶴岡工業高等学校
東日本電信電話株式会社山形支店

山形県立鶴岡工業高等学校における「メタバース講座」の開催

山形県立鶴岡工業高等学校(校長: 平山豊(以下「県立鶴岡工業高校」))と、東日本電信電話株式会社 山形支店(支店長: 渡会俊輔、以下「NTT 東日本」)は、2022年12月22日に山形県立鶴岡工業高等学校にて「メタバース講座」を開催します。

1. 背景・目的

県立鶴岡工業高校は時代の変化にしなやかに対応し、地域の未来を考え力強く前進する人材育成をめざしています。地域産業の次期担い手として、高校生のうちから自らの専門性をもって、主体的に地域交流・貢献する機会を作っていきたいと考えています。

これに対してNTT東日本では、新しいコミュニケーションの場として注目されている「メタバース講座」を開催することで、ICTを活用した探究的な学習の加速や、両者の連携による学校・地域の価値創造をめざします。

2. メタバース講座の概要

(1) 日時

2022年12月22日(木) 15時45分～17時

(2) 参加者

県立鶴岡工業高校 教職員(約40名)、生徒(約25名)

NTT 東日本 山形支店 社員

(3) 講座内容

- ・DOOR^{※1}の概要、導入事例などの紹介(約20分)
- ・生徒1人1台端末(Chromebook)を用いた実習(各個人のルーム作成講座)(約30分)
- ・VR体験、質疑応答(約10分)

※1 DOORは、2020年11月に誕生したNTTのXR空間プラットフォームです

3. 今後の展開

NTT東日本は、本取り組みを通して、生徒の関心を引き出す探究的な教育機会の創出、また、学習を通して地域の価値創造に取り組むことで、新たな教育モデルの創出や魅力的な地域づくりへの貢献をめざしてまいります。

また、県立鶴岡工業高校においては、探究活動や地域連携を充実させ、生徒の成長を図るためとメタバース仮想空間の整備^{※2}や、プログラミング学習として、今後専用の開発ツールを用いたオリジナルの仮想空間「アバター(AI機能など)」の開発講座など工業高校生の強みを活かした学習を展開予定です。